

「サポカー体験型高齢者交通安全教室」開催事業

委託事業

県内市町村

実施目的

高齢者自身が、高齢ドライバーの特性や注意点、運転時の危険予測を学ぶ参加・体験・実践型交通安全教室を開催し、高齢者の交通安全意識の向上と安全な運転方法の実践を図る。また、先進安全技術を備えたサポカーの走行体験を行い、サポカーの理解促進及び普及啓発を行う。

実施場所

県内各市町村、自動車学校等

対象者

高齢者

開始年度

平成30年

予算

2000 千円

実施内容

(内容)

自動車の運転免許を保有している高齢者を対象に、自動車学校において、実車を用いた走行体験による危険予測を必須とした交通安全教室を開催する。

(方法)

地域の交通事故実態を踏まえ、効果的に参加者を募ることのできる各市町村に委託する。

URL

富山県「交通安全チャレンジ 1・2・3 運動」

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

補助事業

富山県「交通安全チャレンジ 1・2・3 運動」実行委員会事務局（県）

実施目的

県民が自ら積極的に安全運転を実施し、県民の意識高揚を図る。

実施場所

県内全域

対象者

運転者

開始年度

平成 6 年

予算

1150 千円

実施内容

（内容）

県内に居住又は勤務している運転免許保有者の 3 人で 1 チームを編成し、チームで 123 日間の無事故・無違反にチャレンジするもの。

チーム全員がこれを達成した場合に認定証を授与し、抽選で副賞を贈呈するもの。

URL

<https://www.pref.toyama.jp/1711/bousaiaizen/koutsuuanzen/kj00003782/index.html>

世代間交流交通安全啓発事業

委託事業 市町村交通安全母の会

実施目的

<ヒヤリマップ作成>

高齢者自身が交通事故に遭いそうになるなど「ヒヤリ」「ハッ」とした場所の地図の作成を通じて、地域の危険箇所を知ってもらうことにより、高齢者の交通事故の減少を図るもの。また、楽しみながら参加していただけるよう、地域の保育園・小学校の協力を得て、子供の交通安全教室などとあわせて行う。

実施場所

県内市町村

対象者

高齢者等（※1）

開始年度

平成15年

予算

500 千円

実施内容

<ヒヤリマップ作成>

（内容）

子ども、高齢者が交流しながら地域の危険箇所について学ぶもの。

（方法）

地元周辺の地図を用いて、子どもと高齢者がヒヤリマップを作成する。

後日、完成したヒヤリマップを校下内の世帯へ配布することで、地域の人たちへもヒヤリ箇所を共有する。

（※1）高齢者、成人、幼児、小学生が対象。

URL